跡

々嚴也

せる製鐵所を——い——

京憲兵司令官の命に依り八日廣島岡山姫路久留米の各憲兵隊より都合五十三名の憲兵來援し直ちに所内及所外

▲昨日は寂しき裡に作業を開始せり

略罰本部の形勢を見當らず

平鋼及鍛治工場の不穩

休業一週後の本日を與へたる内容日出勤せるもの四百二十二名の九日の作業開始第一日は明日にして欠勤者五十三名燃鐵爐の一百六十六名の内出勤者二百四名欠勤者六十二名骸炭工場の二百六十一名の内出勤者二百十一名欠勤者五十名燃鐵原料の二百十三名の内出勤者百九十六名欠勤者百十六名洗炭工場の二百四十五名の内出勤者二百二十三名欠勤者二十四名中央汽罐の二百名の内出勤者百六十八名欠勤者三十二名にして其他各工場にても夫々欠勤者を出したるも作業は何れも開始したるが特に平鋼工場及鍛治工場丈けは昨朝出勤せるもの四百七十五名の内出勤者二百二十三名欠勤者五十二名にして欠勤者の内訳は職工全員百六十餘名の内同日出勤せるものは八十名にして欠勤者八十餘名を出し出勤者は出勤後組長伍長の命に從はず場内頗る喧噪し鍛治工場も同様怠業に出で不穩の狀態を持續し警官隊にて嚴重なる警戒を爲したりと

▲京阪兩工廠提理來る

大阪砲兵工廠横山提理及東京砲兵工廠提理は角田海軍主計大佐と同伴し昨九日午前十一時八幡市に來り直ちに製鐵所に入り中川次長と會見を遂げたる後工場内を視察したり

▲友愛勞友聯合報道會

友愛會八幡支部にては今回の製鐵所大隙休の經過に依つて立場上自然其行動を勞友會と相提携する事となる已報の如く七日午後友愛會より中川次長に會見せし顛末報道會を一昨八日午後二時より中本町三丁目友愛會支部及中央倶丸山町黑住教會及通町十丁目勞友會診療所大門町勞友會本部の四ケ所に於て開催せられたるが當日は頗る警戒嚴重の裡に友愛會顧問藤岡文六氏は拍手に迎へられ「職工諸君に昨日中川次長の回答に對しては不滿ならんも父親たる者の子に對する親愛を欠く爲ならん吾人は之に對し何等與り知る所にあらざるも職工諸君が問題なさんとせば自由にして吾々に依賴すべきもあらば我々は誠心誠意之に力せん云々と述て降壇し次で勞友會員森岡榮一氏の演說あり次に工藤勞友會藤岡友愛會兩會員の立つて辯ずる所あり最後に北九州坑夫協會理事川崎本田の兩氏又熱辯を揮い午後七時散會せしが聽衆一千餘名に達したり

●職工の盜み

舊惡も露見

戸畑町三六富田サッキ方下宿東鐵職工山野佐一郎(三)は三日同所骸炭工場食堂脫衣籠の箱に入りたる他職工の雜沙マント外衣類二點及現金三圓三十一錢入の寶口一個を竊取し三六の安田質店に入質小倉市堅町料理屋胡